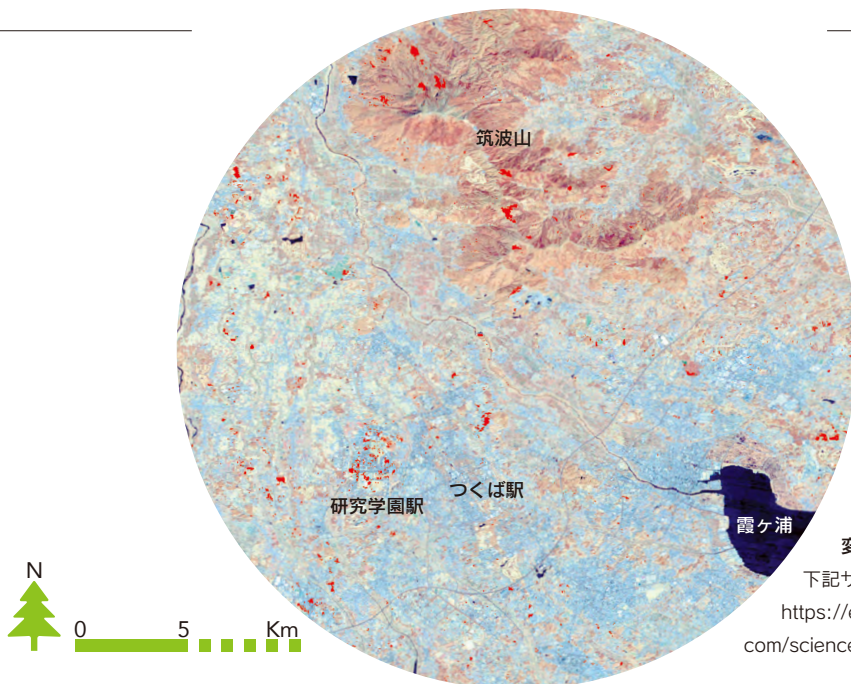


世界森林変化図



文と写真●高橋 正義 Takahashi Masayoshi

森林災害・被害研究拠点

森林域で2000年から2019年に
変化が生じた場所を赤く塗ってある

下記サイト「世界森林変化図」より。

<https://earthenginepartners.appspot.com/science-2013-global-forest>

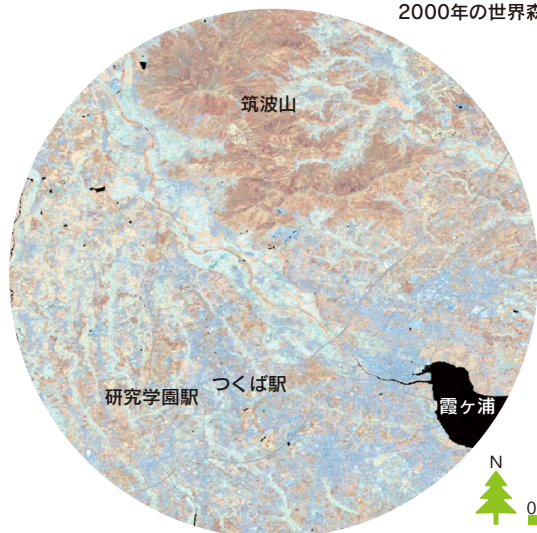
いつの間にか身近な森が消えていたなんてことはありませんか？ 米国メリーランド大学の研究者が作った「世界森林変化図」で調べてみるとその理由がわかるかもしれません。この変化図は、2000年から2019年までの毎年、人工衛星から撮影された雲のない画像をつなぎあわせて比較し、どこが変化したかを公開しているものです。

たとえば、茨城県のつくば駅を中心とした地域の2000年と2019年の衛星画像を拡大して比較してみましょう（下の図）。赤みがかった場所が森林で、図の上部、筑波連山周辺などに森林がみられます。画像を見比べると、北西から南東に幾筋も流れる川沿いの低地に広がる農地（淡い水色の場所）のちがいに目がいりますが、よくみると森林域にも変化している場所があります。

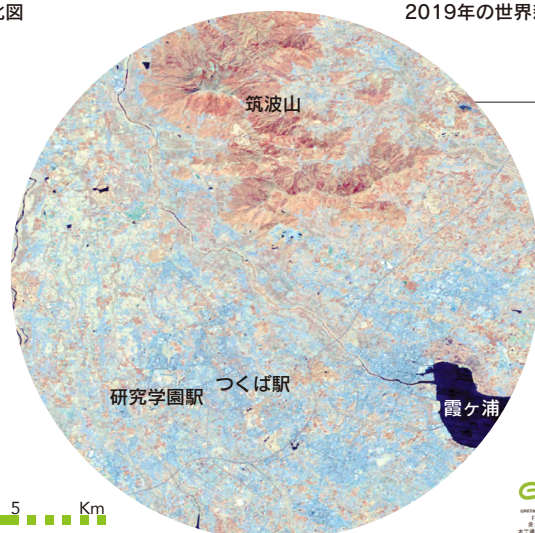
変化した場所を赤く塗ってみるとわかりやすいでしょう（上の図）。研究学園駅周辺に赤い斑点が集まった場所があります。つくばエクスプレス（TX）の開通は2005年なので、鉄道や土地開発のために森林が伐り開かれ、消失したのでしょうか。同じような森林変化は、つくば駅の北側などTX沿線にもみられます。

筑波連山にも森林が変化している場所があります。稜線を走る筑波パープルライン沿いです。木材生産のために森が伐採され、その後ふたたび植林されたのでしょうか？ 「世界森林変化図」は森林の変化を知るのにも良いツールです。地図を眺めているだけでも世界中で起きている森林の変化の様子を想像することができるよう。サイトにアクセスして、森林変化を巡る世界一周旅行の気分を味わってみませんか。♣

2000年の世界森林変化図



2019年の世界森林変化図



この印刷物はグリーン基準に適合したの紙質材料を使用し環境配慮されたグリーンプリンティング製品です。印刷後、廃棄物を減らすためにリサイクルマークを付しています。

20.10.10000

リサイクル適性の表示：紙ヘリサイクル可